



岩手労働局発表  
平成30年4月17日

【照会先】

岩手労働局労働基準部健康安全課  
課長 高橋 友行  
主任衛生専門官 福田 利文  
(電話) 019 - 604 - 3007

## 平成29年の年間(確定値)及び平成30年1月～3月分(速報値)の労働災害発生状況を公表します

～平成29年の死傷者数は、前年比3.7%増～

～平成30年(1月～3月)の死傷者数は、前年同期比7.8%の増加～

岩手労働局(局長 <sup>ながた たもつ</sup> 永田 有)は、平成29年及び平成30年3月の県内の全業種における労働災害による死傷者数(休業4日以上)及び死亡者数の状況を取りまとめました。

平成29年の死傷者数(確定値)は1,353人となり、前年比で48人(3.7%)増加しました。死亡者数(確定値)は23人と前年比で4人増加しました。

平成30年1月～3月(3月末現在の速報値)の死傷者数は317人となり、前年同期比で23人(7.8%)の増加、死亡者数は5人と前年同期比で2人の増加となっています。

(業種別等の発生状況は以下のとおりとなっています。)

### 平成29年1月から12月末までの労働災害発生状況(確定値)

#### 1 死傷災害(休業4日以上) 【表1】(P.3)【グラフ1】(P.9)【グラフ2】(P.10)

##### (1) 全業種合計

全業種合計の死傷者数は1,353人で、前年比で48人(3.7%)増加しました。

##### (2) 業種別の状況

前年比で増加した業種は、「建設業」285人(前年比+22人、+8.4%)、「運輸交通業」143人(同+11人、+8.3%)、「通信業」24人(同+7人、+41.2%)、「畜産水産業」48人(同+6人、+14.3%)などとなっています。

前年比で減少した業種は、「農林業」67人（前年比 - 10人、 - 13.0%）、「製造業」273人（同 - 8人、 - 2.8%）、「鉱業」5人（同 - 2人、 - 28.6%）などとなっています。

(3) 事故の型別状況

全業種において、最も多い事故の型は「転倒」によるもので、337人(24.9%)となっています。次いで、「墜落・転落」によるものが、236人(17.4%)、「はさまれ、巻き込まれ」149人(11.0%)の順となっています。

2 死亡災害 【表2】(P.4) 【表3】(P.5)

(1) 全業種合計

全業種合計の死亡者数は23人で、前年比で4人(21.0%)増加しました。

(2) 業種別の状況

業種別では、「建設業」が8人と最も多く、「農林業」が4人、「製造業」、「運輸業」で各3人などとなっています。

平成30年1月～3月の労働災害発生状況（平成30年3月末現在 速報値）

1 死傷災害（休業4日以上） 【表4】(P.6) 【グラフ3】(P.11) 【グラフ4】(P.12)

(1) 全業種合計

全業種合計の死傷者数は317人で、前年同期比で23人、7.8%の増加となっています。

(2) 業種別の状況

前年同期比で増加した業種は、「運輸交通業」44人（前年同期比 + 16人、 + 57.1%）、「建設業」62人（同 + 8人、 + 14.8%）などとなっています。

前年同期比で減少した業種は、「保健衛生業」20人（前年同期比 - 13人、 - 39.4%）、「農林業」10人（同 - 4人、 - 28.6%）、「接客娯楽業」10人（同 - 4人、 - 28.6%）などとなっています。

(3) 事故の型別状況

全業種において、最も多い事故の型は「転倒」によるもので、135人(42.6%)となっています。次いで、「墜落・転落」によるものが、55人(17.4%)、「はさまれ・巻き込まれ」24人(7.6%)となっています。

2 死亡災害 【表5】(P.7) 【表6】(P.8)

(1) 全業種合計の死亡者数は5人で、前年同期比（3月31日までに報告のあった人数）で2人(40.0%)の増加となっています。

(2) 業種別の状況

業種別では、「建設業」で4人、「清掃・と畜業」で1人となっています。

【表1】

平成29年 労働災害発生状況（休業4日以上の死傷者数）

平成29年 1月～12月

岩手労働局

業種	29年		岩手局 28年		盛岡署	宮古署	釜石署	花巻署	一関署	大船渡署	二戸署
	増減数	増減率	増減数	増減率							
製造業	食料品	21 (1)	-2	-8.7%	27	4 (1)	7		14	8	2
	水産食料品	88	7	8.6%				31		5	11
	上記以外の食料品	8	-5	-38.5%			1	5			
	繊維・衣服その他繊維製品	32	-3	-8.6%	10	6	2	6		3	5
	木材・木製品、家具・装備品	7	5	250.0%	1			3		3	
	パルプ・紙、印刷・製本	14	2	-36.4%	1	1	2	5		3	2
	化学工業	11	-7	-38.9%	1			4		6	
	窯業土石	11	9	22.2%	2		2	4		3	
	鉄鋼業、非鉄金属	22 (1)	-9	-29.0%	11	1	2	7 (1)		2	1
	金属製品	11	3	37.5%	1		2	6		2	2
	一般機械器具	11 (1)	4	57.1%	1	1 (1)		6		1	1
	電気機械器具	8	-7	-46.7%				5		2	
	輸送用機械製造	1	2	(1)	-50.0%					1	
電気・ガス	28	13	86.7%	7	5	3	7		2	4	
その他の製造	273 (3)	-8	-2.8%	62	20 (2)	19	89 (1)		39	20	24
小計	5	-2	-28.6%			1			2		2
建設業	土木工事	102 (6)	20	24.4%	14 (1)	19 (3)	15	17 (1)	11 (1)	8	18
	鉄骨・鉄筋家屋	27 (4)	-2	-6.9%	10 (2)	3	4	5	1	3 (2)	1
	木造家屋	73 (2)	-15	-17.0%	18 (1)	7	7 (1)	16	6	9	10
	その他の建築工事	40 (6)	8	25.0%	10 (1)	5 (3)	2	14 (2)	5	1	3
	その他の建設	43 (8)	11	34.4%	19 (6)	4 (2)	1	6	6	4	3
	小計	265 (26)	22	8.4%	71 (11)	38 (8)	29 (1)	58 (3)	29 (1)	25 (2)	35
	道路貨物運送業	128 (5)	7	5.8%	55 (2)	5		40 (3)	17	5	6
	その他の運輸交通業	15 (1)	4	36.4%	8 (1)		2	2	1	1	1
	貨物取扱	5	4	400.0%		1		3	1		
	農業	11 (1)	-6	-35.3%	3 (1)			4	2		1
林業	56	-4	-6.7%	14	11	5	6	4	4	3	
畜産	33	3	10.0%	11		2	4	4		12	
水産業	15	3	25.0%		4	1				5	
小売業	148 (14)	12	8.8%	72 (6)	7	8	26 (3)	16 (3)	9	10 (2)	
その他の商業	33 (1)	-12	-26.7%	13 (1)	1	2	13	1	1	2	
小計	24 (13)	7	41.2%	12 (8)		1	6 (1)	2 (1)	2 (2)	1 (1)	
通信業	93 (7)	1	1.1%	30 (2)	5	15 (1)	26 (3)	10 (1)	2	5	
社会福祉施設	21 (2)	3	16.7%	13 (2)	2	1	3			2	
その他の保健衛生業	24 (1)	-1	-4.0%	16 (1)	1	1	4	1	1	1	
旅館業	29 (1)	-1	-3.3%	13	2	2	7 (1)	1	3	1	
飲食店	27 (1)	6	28.6%	10 (1)			11	2	1	3	
その他の接客娯楽業	30 (1)	4	15.4%	17	4	2	2 (1)	3		2	
ビルメンテナンス業	98 (9)	6	6.5%	48 (3)	1 (1)	3	14 (1)	5	5	22 (4)	
その他(上記以外の全ての業種)	1,353 (86)	48	3.7%	468 (39)	103 (11)	93 (2)	319 (17)	140 (6)	83 (4)	147 (7)	
合計	1,353 (86)	48	3.7%	439	89	90	298	160	84	145	
前年同期増減数				29	14	3	21	-20	-1	2	
増減率				6.6%	15.7%	3.3%	7.0%	-12.5%	-1.2%	1.4%	

(注)平成30年3月末の確定値である。数字は死亡者数(内数)、( )数字は交通労働災害(内数)である。

【表2】

## 平成29年死亡災害発生状況 (確定値)

岩手労働局

番号	署別	業種	発生日	曜日	性別	年齢 (経験期間)	事故の型	起因物	災害発生の概要
1	宮古	建設業 (港湾海岸工事業)	1月	火	男	60歳代 (20年以上 30年未満)	激突され	移動式クレーン	クローラークレーン(200t)のジブの起伏ドラムに巻かれているワイヤーロープが乱巻きとなったので、ドラム付近で直していたところ、突然ジブが降下し、たるんでいた起伏ワイヤーが張り、頭部に直撃した。
2	二戸	農林業 (木材伐出業)	2月	火	男	60歳代 (1年以上 10年未満)	飛来、 落下	立木等	伐木作業中の被災者が伐倒木(ナラの木、全長22.75m、胸高直径50cm)の下敷きになっているのが発見され、病院に搬送されたが脳挫傷により死亡した。
3	盛岡	接客娯楽業 (その他)	2月	火	男	50歳代 (10年以上 20年未満)	墜落、 転落	建築物、 構築物	建物5階の屋上で作業中、屋上の端から地上に墜落(高さ15m)した。
4	盛岡	運輸交通業 (一般貨物自動車運送業)	4月	木	男	60歳代 (1年以上 10年未満)	墜落、 転落	移動式クレーン	被災者は、最大積載量10トンの車両積載形トラッククレーンに住宅用資材を積載し、新築住宅工事現場に向かったが、作業場所が狭隘であったため、近くの駐車場にて、最大積載量3.75トンの車両積載形トラッククレーンに資材を積み替える作業を行っていた。作業を開始してまもなく、通行人がうつ伏せで倒れていた被災者を発見、救急搬送されたが、翌日死亡した。
5	花巻	運輸交通業 (一般貨物自動車運送業)	4月	木	男	40歳代 (10年以上 20年未満)	交通事故 (道路)	トラック	千葉県から岩手県に荷物を運搬するため、常磐自動車道下り線を走行していた被災者の運転する大型トラックが、対向車線にはみ出し、同自動車道下り線を走行していたダンプトラックと正面衝突した。
6	花巻	製造業 (セメント・ 同製品製造業)	4月	土	男	30歳代 (1年以上 10年未満)	墜落、 転落	建築物、 構築物	プラントの貯蔵びん内補修工事に立ち会っていた被災者が、ホッパーの排出ゲートが開いた状態で排出されなかった骨材(砂)をスコップでほぐす作業を行っていたところ、砂に埋まり死亡した。
7	二戸	建設業 (その他の土木工事業)	7月	木	男	60歳代 (50年以上 60年未満)	はさまれ、 巻き込まれ	移動式クレーン	側溝配水管敷設工事において、積載型トラック上でU字型側溝(長さ2m、重さ350kg)2個を玉掛けし、ジブを起こしたところ、トラックが転倒。アウトリガーと荷台の間に挟まれた。
8	盛岡	建設業 (鉄骨・鉄筋コンクリート造 家屋建築工事業)	7月	月	男	30歳代 (1年以上 10年未満)	墜落、 転落	屋根、はり、 もや、けた、 合掌	3階建て建物建設工事の鉄骨建方作業中、梁または昇降タラップから地上に(約8m)墜落した。
9	宮古	建設業 (その他の建築工事業)	8月	金	男	20歳代 (1年以上 10年未満)	交通事故 (道路)	乗用車、 バス、 バイク	建築物に使用する鉄筋を滝沢市内の加工場で加工するため、労働者3名が乗用車に同乗し、宮古市から国道を西進中、車両が道路から逸脱、道路脇の川に転落、下流で3名の遺体が発見された。前日から当日未明まで大雨が降り、路面が濡れていたほか、川は増水していた。
男					20歳代 (1年以上 10年未満)				
男					10歳代 (1年未満)				
12	花巻	農林業 (木材伐出業)	9月	土	男	60歳代 (1年未満)	飛来、 落下	立木等	樹高15m(胸高直径30cm)のナラの木をチェーンソーで伐倒作業中、追い切りをしていた際、木が縦に裂け、裂けた部分が天秤状になった後、高さ3.9mから折れて落下し、被災者に落下した。
13	大船渡	農林業 (木材伐出業)	9月	月	男	70歳代 (10年以上 20年未満)	崩壊、 倒壊	立木等	斜度40度の山林で、伐採作業中にかかり木が発生した。かかっている赤松(樹高18m、胸高直径45cm)を伐倒したことにより、かかっていた杉(樹高18m、胸高直径18cm)が被災者に激突したものの。(推定)
14	二戸	畜産・水産業 (畜産業)	9月	木	男	60歳代 (1年以上 10年未満)	墜落、 転落	はしご等	物置小屋の増設作業で軒高2.7mの屋根に長さ3mのはしごを立て掛け、角材とブルーシートを持ってはしごを登っていたところ、アスファルト舗装の地面に墜落した。病院で療養中のところ、10月に死亡した。
15	花巻	商業 (燃料小売業)	10月	水	男	60歳代 (30年以上 40年未満)	交通事故 (道路)	乗用車、 バス、 バイク	営業所から社用車を運転して客先に向かっていたところ、車道左側に逸脱し、電柱に激突した。
16	花巻	製造業 (自動車整備業)	10月	金	男	40歳代 (1年以上 10年未満)	はさまれ、 巻き込まれ	その他の 建設機械等	洗車場でロータリー除雪車を清掃中、回転していたオーガにホースが絡まり、被災者もオーガに巻き込まれた。
17	花巻	建設業 (木造家屋建築工事業)	10月	金	男	50歳代 (30年以上 40年未満)	墜落、 転落	屋根、はり、 もや、けた、 合掌	2階梁上で床下地材を敷く作業中、バランスを崩し、約3.6m下の1階基礎コンクリート部分に転落した。
18	宮古	製造業 (製材業)	11月	火	男	50歳代 (1年未満)	崩壊、 倒壊	玉掛用具	新築工事現場に自社制作の木製パネルを納入するため、金属枠に複数のパネルを収納し、トラックの荷台から移動式クレーンで吊り上げたところ、金属枠の連結部分が外れ、パネルが落下、パネルを運搬してきた運転手が下敷きとなった。
19	宮古	その他の事業 (警備業)	11月	土	男	60歳代 (1年以上 10年未満)	交通事故 (道路)	トラック	交通安全施設等工事における片側交互通行の交通誘導中、走行してきた2tトラックに停止合図を出したが、停車せずに誘導員をはねた。
20	釜石	農林業 (木材伐出業)	11月	月	男	70歳代 (10年以上 20年未満)	崩壊、 倒壊	立木等	カラ松(直径32cm)をチェーンソーで伐倒しようとしたところ、この木にかかり木となっていたカラ松(直径35cm)が倒れ、下敷きとなった。(推定)
21	盛岡	接客娯楽業 (旅館業)	12月	木	男	50歳代 (20年以上 30年未満)	転倒	通路	飲食店での業務を終え、徒歩で所属事業場へ移動中、凍結した路面で滑って転倒、頭部に地面に打った。(推定)
22	釜石	建設業 (橋梁建設工事業)	12月	月	男	50歳代 (30年以上 40年未満)	墜落、 転落	開口部	コンクリート打設後の養生状況を確認するため、現場を見回りに行ったが、翌朝に橋脚端に倒れているところを発見された。約20m直上の張出足場から墜落した。(推定)
23	盛岡	運輸交通業 (一般貨物自動車運送業)	12月	火	男	30歳代 (1年以上 10年未満)	交通事故 (道路)	トラック	4tトラックに乗車し、県道を走行中、センターラインを越え対向車線を走行していたトレーラーと正面衝突した。

【表3】

平成29年 死亡災害発生状況（事故の型別等）（確定値）

業種別	製造業 3人 (3人)	鉱業 0人 (0人)	建設業 8人 (7人)	運輸業 3人 (1人)	農林業 4人 (5人)	商業 1人 (2人)	左記以外 4人 (1人)
監督署別	盛岡 5人 (1人)	宮古 6人 (2人)	釜石 2人 (2人)	花巻 6人 (5人)	一関 0人 (1人)	大船渡 1人 (2人)	二戸 3人 (6人)
事故の型別	墜落・転落 7人 (5人)	転倒 1人 (0人)	飛来・落下 2人 (1人)	崩壊・倒壊 3人 (2人)	激突され 1人 (3人)	はさまれ・巻き込まれ 2人 (3人)	切れ・こすれ 0人 (0人)
	破裂 0人 (1人)	高温の物との接触 0人 (1人)	激突 0人 (1人)	感電 0人 (0人)	有害物等との接触 0人 (0人)	交通事故 7人 (1人)	その他 0人 (1人)
23人 (前年同期19人)							

注：（ ）内は前年同期

[表4]

平成30年労働災害発生状況(休業4日以上の死傷者数)

平成30年 1月～3月

岩手労働局

業種	30年		岩手局 29年		増減率	盛岡署	宮古署	釜石署	花巻署	一関署	大船渡署	二戸署
	7	19 (1)	4	17								
製造業	食料品	7	4	3	75.0%		2	3			2	
	水産食料品											
	上記以外の食料品	19 (1)	17	2	11.8%	4			5	3	3	4 (1)
	繊維・衣服その他繊維製品	4	6	-2	-33.3%	1				3		
	木材・木製品、家具・装備品	9	10	-1	-10.0%	2	1		1		2	3
	パルプ・紙、印刷・製本	3	1	2	200.0%					3		
	化学工業	5	4	1	25.0%	3					1	1
	窯業土石	5 (1)	3	2	66.7%	1				2	2 (1)	
	鉄鋼業、非鉄金属	4	2	2	100.0%			1	2	1		
	金属製品	4	7 (1)	-3	-42.9%	2			1	1		
	一般機械器具	2	1	1	100.0%				2			
	電気機械器具	2	1	1	100.0%				1			1
	輸送用機械製造	4	4	0	0.0%	3			1			
電気・ガス												
その他の製造	4	7	-3	-42.9%			1			1	1	
小計	72 (2)	67 (1)	5	7.5%	16	3	5	13	13	14	11 (1)	10 (1)
鉱業												
土木工事	22 (1)	25	-3	-12.0%	2	5	5	4 (1)		2		4
建築	3	3	0	0.0%	3							
鉄骨・鉄筋家屋												
木造家屋	21	9 (1)	12	133.3%	4	5	3	3	3		3	
その他の建築工事	8 (4)	10	-2	-20.0%	2			2			4 (4)	
その他の建設	8	7	1	14.3%			1	6			1	
小計	62 (5)	54 (1)	8	14.8%	11	10	9	15 (1)	15 (1)	5	1	11 (4)
運輸												
道路貨物運送業	34 (1)	26	8	30.8%	14	1	2	10	10	3	1	3 (1)
その他の運輸交通業	10	2	8	400.0%	5	1	1	2	2	1		1
貨物取扱												
農業	1	2 (1)	-1	-50.0%		1						
林業	9	12	-3	-25.0%	2		2	2	2		1	2
畜産業	10	4	6	150.0%	1		1	7				1
水産業		4	-4									
小売業	35 (3)	31 (2)	4	12.9%	15 (1)	1	3	6 (1)	6 (1)	6	2 (1)	2
その他の商業	8	7	1	14.3%	2		1	2	2	2		1
小計	13 (6)	8 (5)	5	62.5%	2 (2)	2 (2)	1	6 (1)	6 (1)	1	2 (1)	2 (1)
通信業												
社会福祉施設	17	26 (3)	-9	-34.6%	2	1	1	5	5	5	2	1
その他の保健衛生業	3	7 (2)	-4	-57.1%	3							
旅館業	3	3	0	0.0%		1			1			1
飲食店	3 (1)	2	1	50.0%	2 (1)					1		
その他の接客娯楽業	4	9	-5	-55.6%	1			1	1		2	
ビルメンテナンス業	10	10	0	0.0%	6	1	1	2	2	1		
その他(上記以外の全ての業種)	23 (1)	17 (1)	6	35.3%	8	1	1	7	7	3	1 (1)	2
合計	317 (19)	294 (16)	23	7.8%	90 (4)	23 (2)	25	79 (3)	79 (3)	42	21 (3)	37 (7)
前年同期					107	18	24	71	71	31	19	24
増減数					-17	5	1	8	8	11	2	13
増減率					-15.9%	27.8%	4.2%	11.3%	11.3%	35.5%	10.5%	54.2%

(注) 平成30年3月末の速報値である。  
数字は死亡者数(内数)、( )数字は交通労働災害(内数)である。

【表5】

## 平成30年 死亡災害発生状況 ( 3月31日 現在 )

岩手労働局

番号	署別	業種	発生日	曜日	性別	年齢 (経験期間)	事故の型	起因物	災害発生の概要
1	釜石	建設業 (道路建設工事業)	2月	土	男	60歳代 (1年未満)	はさまれ、 巻き込まれ	トラック	盛土材を運搬してきた10tダンプを誘導していた被災者の背後から4tダンプが後進してきて、轢かれたもの。
2	花巻	建設業 (木造家屋建築工事業)	2月	火	男	70歳代 (50年以上 60年未満)	崩壊、 倒壊	建築物、 構築物	倉庫脇のテント小屋内で住宅新築工事に使用するレンガを加工する作業中、屋根(ブルーシート)の積雪と倉庫からの落雪によりテント小屋が崩壊し、構造部材(廃材)や落雪の下敷きとなった。
3	盛岡	建設業 (橋梁建設工事業)	3月	木	男	60歳代 (1年未満)	飛来、 落下	金属材料	橋脚築造工事の土止め支保工解体作業中、腹起こしのプラケット材をガス溶断していたところ、腹起こしが落下しないようにはあらかじめチェーンブロックを両端2箇所へ掛け、一段上の腹起こしに当該腹起こしをつり下げようとしていたが、プラケット材が溶断された際に、片方のチェーンブロックが破断、腹起こしが両方とも落下、上段の腹起こしの下敷きとなった。
4	盛岡	清掃・と畜業 (産業廃棄物処理業)	3月	土	男	50歳代 (10年以上 20年未満)	はさまれ、 巻き込まれ	トラック	被災者が一人でダンボールの回収作業を行っていたところ、ごみ収集車が前進し、ごみ収集車と門柱に挟まれた。
5	二戸	建設業 (港湾海岸工事業)	3月	火	男	50歳代 (20年以上 30年未満)	墜落、 転落	整地・運搬・ 積み込み用 機械	防波堤拡幅工事において、防波堤に仮置きされた被覆ブロック(重量4.0トン)を積み上げるためドラグ・ショベルで吊り上げた状態で後進し右旋回させたところ、旋回角度が90度付近でバランスを崩し、ドラグ・ショベルとともに海中に墜落した。

【表6】

## 平成30年 死亡災害発生状況 (事故の型別等)

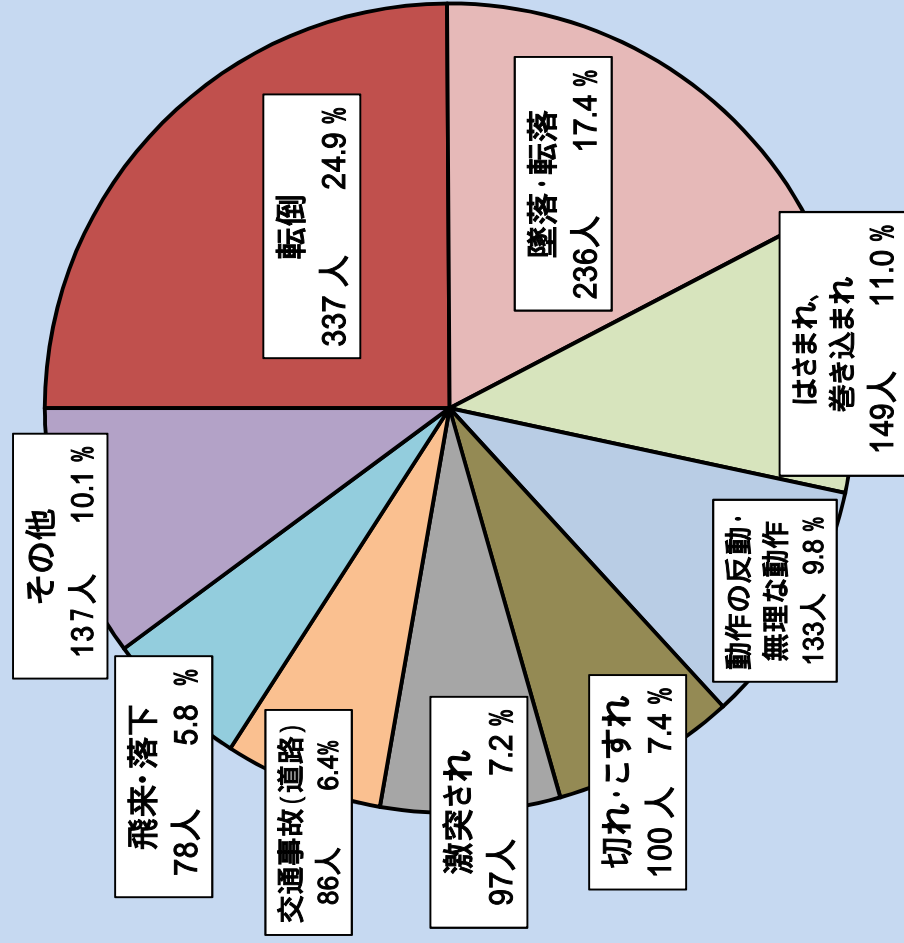
3月31日 現在

業種別	製造業 0人 (0人)	鉱業 0人 (0人)	建設業 4人 (1人)	運輸業 0人 (0人)	林業 0人 (1人)	商業 0人 (0人)	左記 以外 1人 (1人)
監督署別	盛岡 2人 (1人)	宮古 0人 (1人)	釜石 1人 (0人)	花巻 1人 (0人)	一関 0人 (0人)	大船渡 0人 (0人)	二戸 1人 (1人)
事故の型別	墜落・ 転落 1人 (1人)	転倒 0人 (0人)	飛来・ 落下 1人 (0人)	崩壊・ 倒壊 1人 (0人)	激突 され 0人 (2人)	はさまれ・ 巻き込まれ 2人 (0人)	切れ・ こすれ 0人 (0人)
	破裂 0人 (0人)	高温の物 との接触 0人 (0人)	激突 0人 (0人)	感電 0人 (0人)	有害物 等との 接触 0人 (0人)	交通事故 0人 (0人)	その他 0人 (0人)
5人 (前年同期3人)							

注：( )内は前年同期



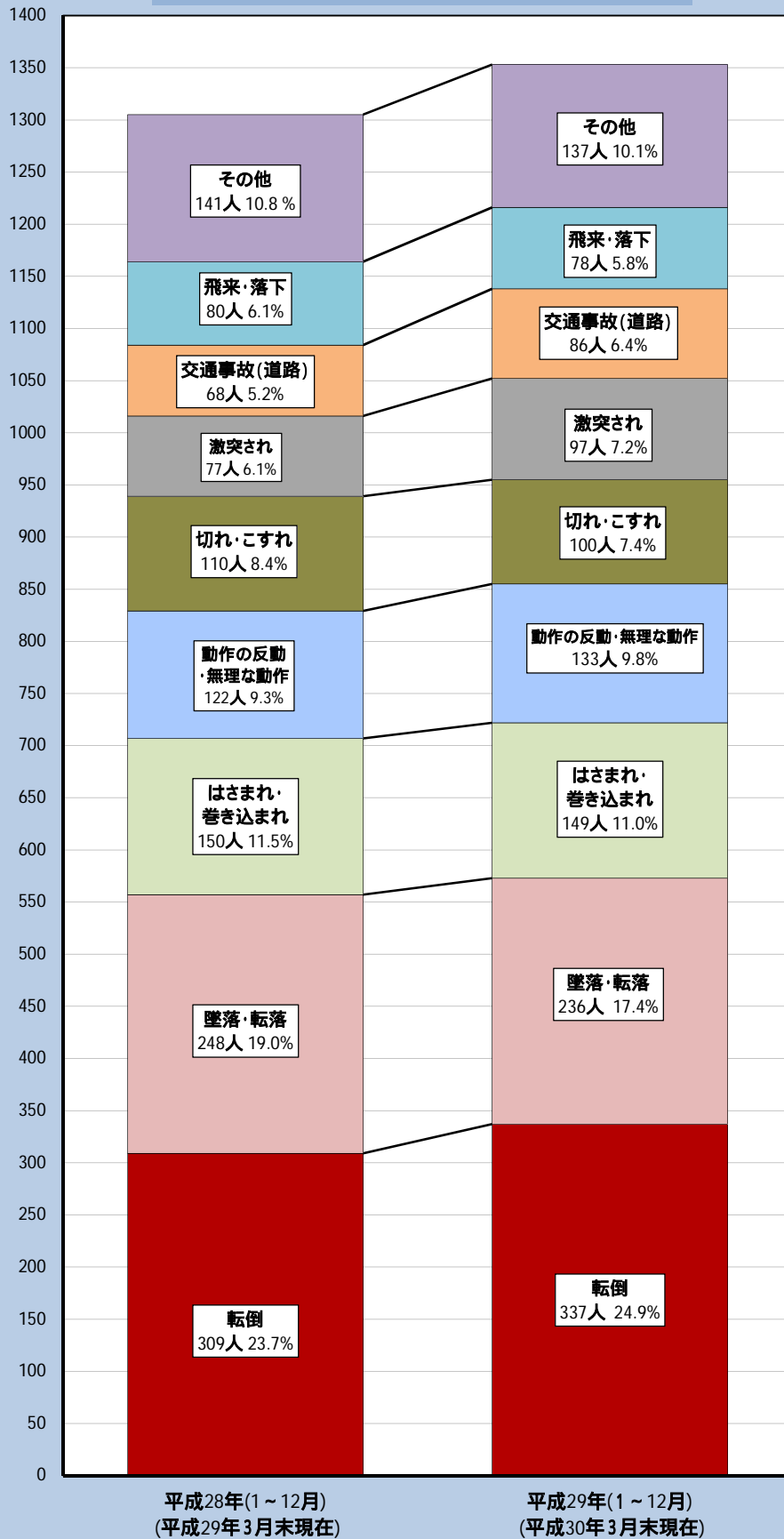
【グラフ1】 平成29年(1～12)月 労働災害発生状況（事故の型別）  
岩手労働局



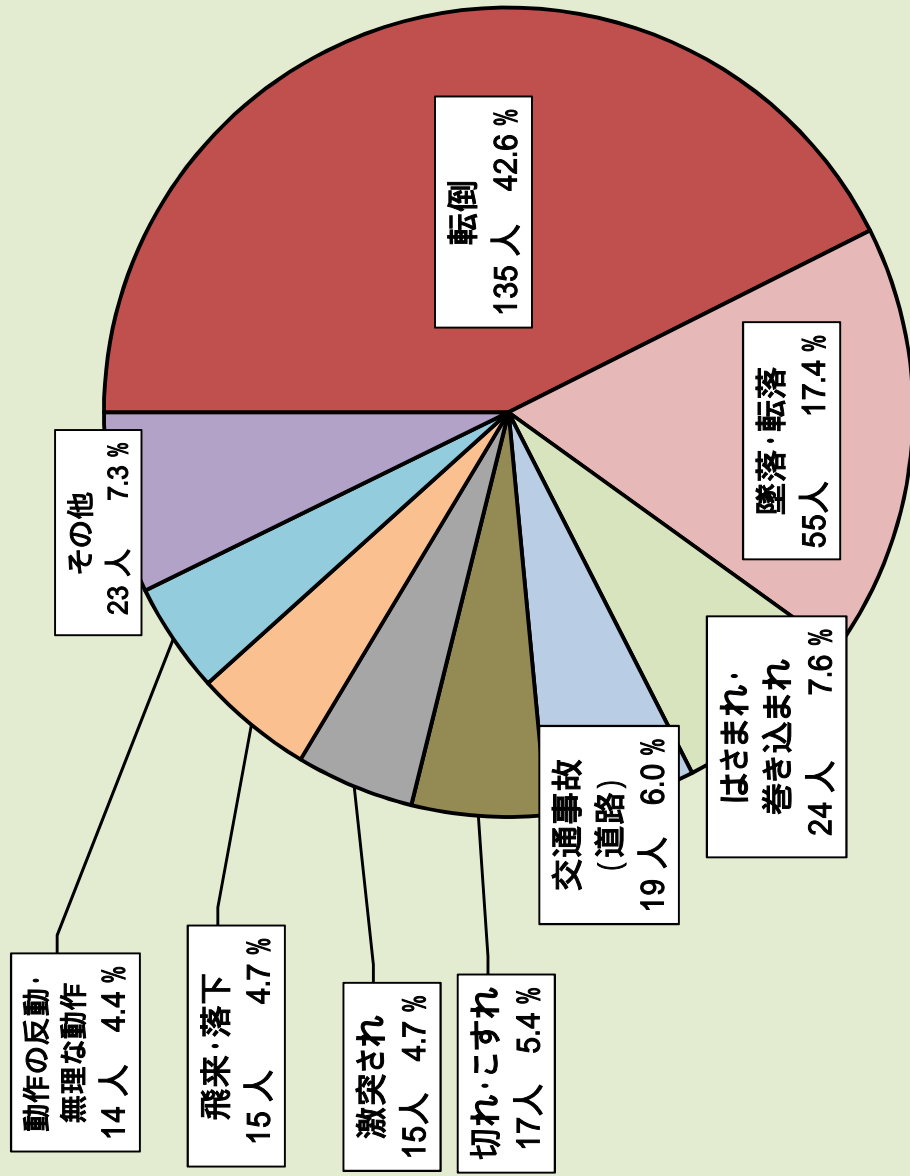
平成30年3月末の確定値である。

数字は死亡者数(内数)である。

【グラフ2】 平成28年・29年(1～12)月  
労働災害発生状況(事故の型別)

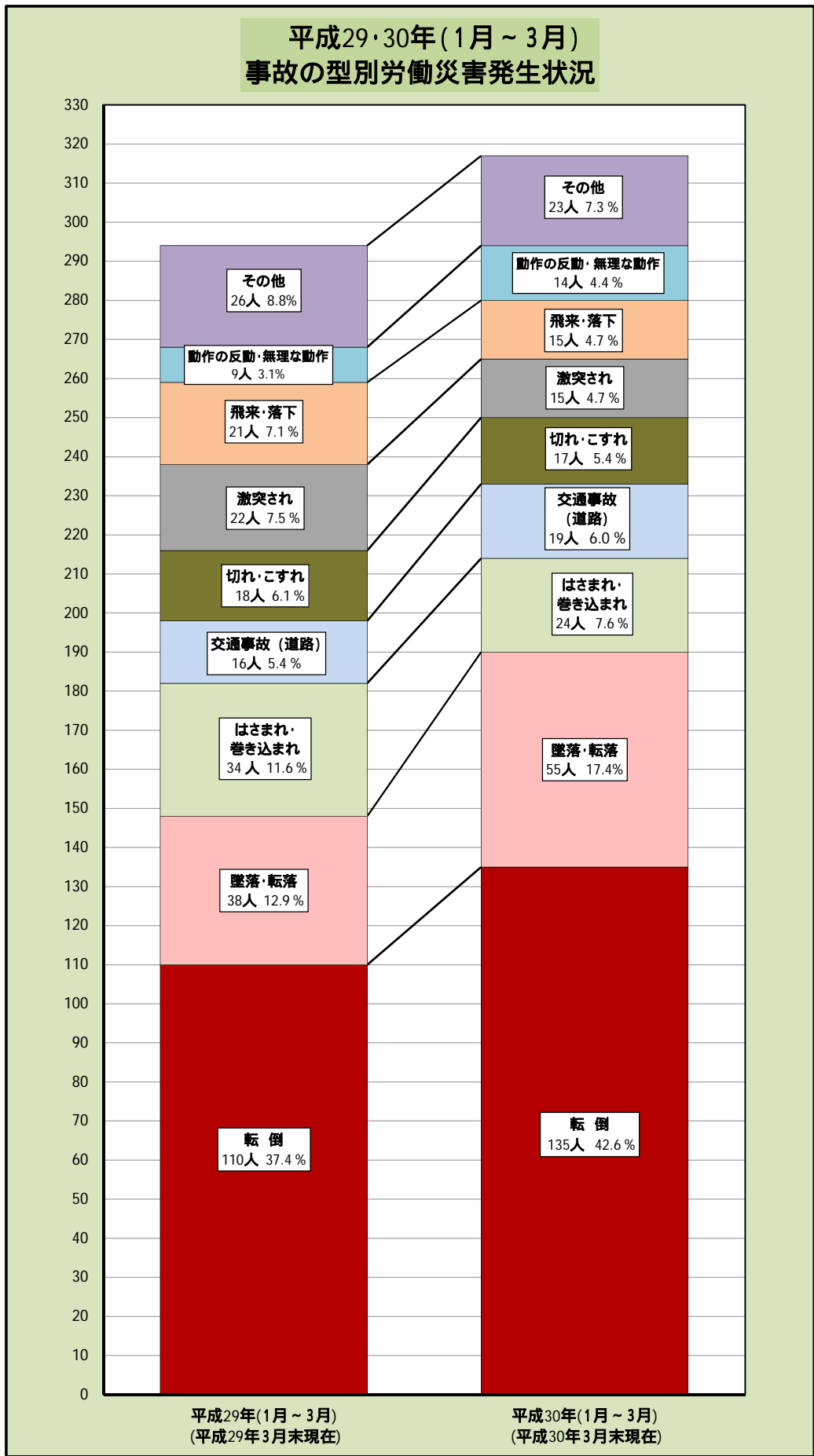


【グラフ3】 平成30年1月～3月 労働災害発生状況（事故の型別）  
岩手労働局



平成30年3月末の速報値である。  
数字は死者数(内数)である。

【グラフ4】



労働災害発生状況 (休業4日以上の死傷者数)

平成29年 (平成30年3月末統計)

岩手労働局

業種	当年累計	前年同期	対前年同期増減数	対前年同期増減率	月別発生状況											
					1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
食料品	21 (1)	23	-2	-8.7%		3	1	4	4	1	1	3	1	1	2	3 (1)
水産食料品	88	81	7	8.6%		9	9	4	7	4	4	12	6	5	10	9
上記以外の食料品	8	13	-5	-38.5%		3	3	1	1	3	1	1	2	4	1	5
繊維・衣服その他繊維製品	32	35	-3	-8.6%		4	4	3	4	3	1	1	1	3	1	5
木材・木製品・家具・装備品	7	2	5	250.0%				1	1	1	1	1	3	1	1	5
パルプ・紙・印刷・製本	14	22	-8	-36.4%		3	2	1	1	1	1	1	1	2	1	1
化学工業	11	18 (1)	-7	-38.9%		1	1	2	3	4	1	1	1	3	1	1
窯業土石	11	9	2	22.2%		1	1	1	1	4	1	1	1	1	2	1
鉄鋼業 非鉄金属	22 (1)	31 (1)	-9	-29.0%		2 (1)	4	1	4	1	1	2	1	3	1	2
金属製品	11	8	3	37.5%		1	1	1	2	1	1	3	1	1	2	2
一般機械器具	11 (1)	7	4	57.1%		1	1	1	1	1	3	1	3	2 (1)	1	1
電気機械器具	8	15	-7	-46.7%		2	1	2	1	1	1	1	1	1	1	1
輸送用機械製造	1	2 (1)	-1	-50.0%												
電気・ガス	28	15	13	86.7%		2	2	5	2	1	1	4	2	2	2	3
その他の製造	273 (3)	281 (3)	-8	-2.8%		24 (1)	30	25	27	16	14	28	22	19	20 (1)	28 (1)
小計	5	7	-2	-28.6%		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
土木工事	102 (6)	82 (10)	20	24.4%		7	14	8	7	7	6 (1)	11 (1)	7	4	11 (2)	11 (1)
建築 鉄骨・鉄筋家屋	27 (4)	29 (2)	-2	-6.9%		1	2	2	3	2	2	5	3	5 (2)	2	2
建築 木造家屋	73 (2)	88	-15	-17.0%		3 (1)	2	5	7	8 (1)	3	11	6	6	6	10
工事 その他の建築工事	40 (6)	32 (5)	8	25.0%		3	4 (1)	4	3	4	4	3 (1)	5 (3)	3 (1)	1	1
その他の建設	43 (8)	32 (2)	11	34.4%		4	2	1	3	3	7	11 (5)	4 (1)	4 (2)	3	1
小計	285 (26)	263 (19)	22	8.4%		18 (1)	24 (1)	20 (2)	23	24 (1)	20 (1)	41 (7)	22 (4)	22 (5)	21 (1)	25 (1)
運輸 道路貨物運送業	128 (5)	121 (10)	7	5.8%		14 (1)	11	10	7 (1)	10	9 (2)	10	9	4	9	19 (1)
交通業 その他の運輸交通業	15 (1)	11	4	36.4%		2	1	1	1 (1)	1	1	1	2	2	2	3
貨物取扱	5	1	4	400.0%			1		1	1						1
農業	11 (1)	17	-6	-35.3%		3 (1)						3	1	2		1
林業	56	60	-4	-6.7%		4	8	1	3	6	2	5	5	7	6	3
畜産	33	30	3	10.0%		1	3	3	4	3	1	3	1	4	4	4
水産業	15	12	3	25.0%		2	2	1	1	1	1	3	1	1	2	2
小売業	148 (14)	136 (15)	12	8.8%		19 (2)	16 (1)	11	12	9	6 (1)	10 (1)	12 (2)	17 (1)	15 (3)	12 (3)
その他の商業	33 (1)	45 (4)	-12	-26.7%		4	4	2	2	3	4	2	4 (1)	6	2	1
小計	24 (13)	17 (4)	7	41.2%		6 (3)		2 (2)	2		2 (1)	3 (3)	7 (1)	4 (2)	2 (1)	1 (1)
通信業	93 (7)	92 (4)	1	1.1%		15 (2)	12	5 (1)	7 (1)	8 (1)	4	6	7 (1)	12 (1)	4	2
保健 社会福祉施設	21 (2)	18	3	16.7%		2	6 (2)	2	2	1	4	3	1	5	1	1
衛生業 その他の保健衛生業	24 (1)	25	-1	-4.0%		2	2	1	2	1	3	3	1	6 (1)	1	3
接客 旅館業	29 (1)	30	-1	-3.3%		1	2	2	1	5	3	3	3	3	3 (1)	3
娯楽業 その他の接客娯楽業	27 (1)	21	6	28.6%		3	5	2 (1)	1	2	2	2	1	2	2	2
その他 ビルメンテナンス業	30 (1)	26	4	15.4%		1	7	2	1	2	1	2	5	1	3 (1)	2
その他(上記以外の全ての業種)	98 (9)	92 (9)	6	6.5%		11 (1)	7	9 (1)	7	9	9 (2)	7	4	7	8 (1)	13 (4)
合計	1,353 (86)	1,305 (68)	48	3.7%		133 (12)	141 (4)	99 (7)	100 (3)	98 (2)	81 (7)	135 (11)	98 (6)	104 (8)	98 (5)	131 (11)

(注)労働者死傷病報告による休業4日以上の統計である。内は死亡者数(内数)である。( )内は交通労働災害者数(内数)である。

【参考2】

労働災害発生状況（休業4日以上の死傷者数）

平成30年（平成30年3月末統計）

岩手労働局

業種	当年累計	前年同期	対前年同期増減数	月別発生状況														
				1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月			
製造業	食品	7	4	3	5		2											
	水産食料品																	
	上記以外の食料品	19 (1)	17	2	11.8%	8	7	4 (1)										
	繊維・衣服その他繊維製品	4	6	-2	-33.3%	2	2											
	木材・木製品、家具・装備品	9	10	-1	-10.0%	2	4	3										
	パルプ・紙、印刷・製本	3	1	2	200.0%	2	1											
	化学工業	5	4	1	25.0%	2	3											
	窯業・土石	5 (1)	3	2	66.7%	1	4 (1)											
	鉄鋼業、非鉄金属	4	2	2	100.0%	3		1										
	金属製品	4	7 (1)	-3	-42.9%		3	1										
	一般機械器具	2	1	1	100.0%	1	1											
	電気機械器具	2	1	1	100.0%	2												
	輸送用機械製造	4	4	0	0.0%	3	1											
	電気・ガス																	
その他の製造	4	7	-3	-42.9%	3		1											
小計	72 (2)	67 (1)	5	7.5%	34	26 (1)	12 (1)											
建設業	土木工事	22 (1)	25	-3	-12.0%	7 (1)	8	7										
	鉄骨・鉄筋家屋	3	3	0	0.0%		3	4										
	建築工事	21	9 (1)	12	133.3%	10	3	8										
	その他の建築工事	8 (4)	10	-2	-20.0%	5 (4)	2	1										
	その他の建設	8	7	1	14.3%	3	5											
	小計	62 (6)	54 (1)	8	14.8%	25 (6)	21	16										
	運送用貨物運送業	34 (1)	26	8	30.8%	18 (1)	12	4										
	その他の運輸交通業	10	2	8	400.0%	7	3											
	貨物取扱		1	-1														
	農業	1	2 (1)	-1	-50.0%			1										
畜産	9	12	-3	-25.0%	4	3	2											
水産業	10	4	6	150.0%	3	3	4											
小売業	35 (3)	31 (2)	4	12.9%	15 (1)	15 (1)	5 (1)											
その他の商業	8	7	1	14.3%	4	3	1											
通信業	13 (6)	8 (5)	5	62.5%	7 (3)	4 (2)	2 (1)											
保健衛生業	17	26 (3)	-9	-34.6%	7	7	3											
社会福祉施設	3	7 (2)	-4	-57.1%		2	1											
旅館業	3	3	0	0.0%		2	1											
接客娯楽業	3 (1)	2	1	50.0%	2 (1)	1												
その他の接客娯楽業	4	9	-5	-55.6%	2	2												
ビルメンテナンス業	10	10	0	0.0%	4	6												
その他(上記以外の全ての業種)	23 (1)	17 (1)	6	35.3%	11	9	3 (1)											
合計	317 (19)	294 (16)	23	7.8%	143 (11)	119 (4)	55 (4)											

(注)労働者死傷病報告による休業4日以上の統計である。内は死亡者数(内数)である。( )内は交通労働災害者数(内数)である。